

目次

1. 第5回マスターズ例会のご案内
2. 酒まつり初日マスターズ「懇親会」は和気藹々、大盛況でした
3. 「広島マスターズ市民講座」がはじまっています
4. 「宇山ふれあいまつり」に行ってきました
5. 東広島生涯学習フェスティバルに出展しました
6. 蔵書整理・有効活用の試みにご協力を！
7. マスターズ活動記録

1. 第5回マスターズ例会のご案内

秋冷の候、皆さま方お変わりありませんか。今年は残暑がつづき、賀茂台地はやっと紅葉の映える季節になりました。

さて、広大マスターズはこの12月2日で創立1周年を迎えます。会員数65名（顧問、協力会員を含む）、内実をともなった活動も徐々に行えるようになりました。会員の皆さまのご活躍のニュースも入ってまいります。お蔭でマスターズも、その名が少しずつ知られるようになってきました。

そのような1年を振り返り、なにかと気ぜわしい年の瀬ではありますが、第5回例会とあわせて忘年会を開催いたします。例会では、本会協力会員前垣寿男社長のご好意を得て、賀茂泉酒蔵を見学させていただきます。たんに通り一遍の見学会ではなく、水の話、土の話、世界の酒文化の話など私たち会員の知見をも交換し、利き酒もたのしみながら、ゆっくりと酒づくりの工程を見せていただく会になりましょう。

ぜひご参集ください。忘年会だけの参加も歓迎いたします。

なお、参加希望者は、準備の都合がありますので、12月7日（金）までに事務局宛にメールまたはFAX、あるいはハガキでご返信ください。実施要領は、以下の通りです。

- 1 名 称： 広島大学マスターズ第5回例会（酒蔵見学と忘年会）
- 2 日 時： 12月11日（火）
第1部 14:30～16:45 酒蔵見学
第2部 17:30～19:30 忘年会（しょうの助・下記参照）
- 3 場 所： 第1部 賀茂泉酒造（前垣社長は本会協力会員）TEL082-423-2118
- 4 集合場所： 14:30までにJR西条駅ロビーに集合。賀茂泉まで徒歩15分。
- 5 当日のプログラム
14:30 JR西条駅集合
14:30～14:45 酒蔵通り見学（ガイド金田代表幹事）
14:45～16:45 賀茂泉酒造見学およびきき酒（2時間コース）
16:45～17:15 茶話会 酒泉館（元県醸造試験場）
17:30～19:30 忘年会 賀茂泉館1階「しょうの助」（JR西条駅前）TEL082-424-2088
- 6 会費 茶話会のみ 500円
茶話会＋忘年会 5000円

ご希望により、第1部あるいは第2部だけのご参加もOKです。

ご出欠の連絡は、12月7日（金）までに、事務局宛（本紙最後に掲載）にメール、ファックス、郵便いずれかの方法でお知らせください。ご欠席の方も、一言近況などを伝えるご返事をお待ちしています。

2. 酒まつり初日マスターズ「懇親会」は和気藹々、大盛況でした

10月13日(土)西条酒まつりの初日、マスターズ発足後初の「懇親会」が午後5時30分から料亭「ふく政」で開催されました。会員15名が参加し、久しぶりの邂逅で、終始和やかな雰囲気のもとで行われました。次第に西条名物の美酒鍋と地元酒に酔いを重ねながら、話しが話しを盛り上げて、時間の経つのを忘れる一夕でした。途中で、出席された皆さま方の近況報告が行われ、今後のマスターズの活動のあり方などについても建設的な提案がなされました。

会員の間から、来年も酒まつりの初日行おうというご提案があり、大方の賛同を得ましたので、来年の懇親会の日程が決まりました。8時前に、閉会いたしました。来年また会いましょう。

3. 「広大マスターズ市民講座」がはじまっています

本「通信」第7号と第8号での予告通り、東広島市教育委員会生涯学習課の協力を得て、「広大マスターズ市民講座」2コースが10月20日(土)はじまりました。

第1コース「熟年世代の健康と食べ物」第1回の「熟年世代の健康」(角谷哲司会員)は、翌日朝の「NHKおはよう日本」でも報道され、順調に実施されています。太田安英会員、川上英之会員の講義も無事終わりました。

熟年世代の健康は、私たちにとっても自分の問題であります。第4回は12月8日(土)西村清巳会員の「熟年世代の健康と運動」です。予告どおり市民文化センター研修室(サンスクエア東広島2F)で、14:00~15:30に行われます。ご都合をつけて、ぜひご参加ください。

第2コースの「広島の魚文化」は、第1コースにくらべて少し参加者が少ないようですが、ずいぶん釣り好きのツウの人間が集まり、きわめて専門的な質疑がなされていました。10月27日(土)に行われた第1回海野徹也教授の「広島のアユ」は、スライド40枚を使って講義され、参加者の熱心な学習意欲を高め、予定時間を大幅に延長して質疑が続きました。第2回の宗岡洋二郎会員の講義も無事終わりました。この講座は、まだ2回あります。お孫さんなどを誘って、ぜひご参加ください。役に立つはずですよ。

第3回12月1日(土)14:00~15:30 研修室2

ナマズの話 宗岡洋二郎(元広大総合科学部)

第4回12月15日(土)14:00~15:30 研修室2

広島釣と魚の話 海野徹也(広大生物圏科学研究科)

会場は、第1コースと同様市民文化センター研修室(サンスクエア東広島2F)です、ご関心のある方はぜひご出席ください。

(市民講座全体の報告は、担当の山本幹事が「通信」次号で行います。)

4. 「宇山ふれあいまつり」に行ってきました

各地で収穫を祝う秋祭りたけなわの10月28日、快晴の河内町宇山公民館グラウンドで第10回宇山ふれあいまつりが開催されました。

実行委員会から広大マスターズも招待を受け、急遽会員の方々にご連絡を試みたのですが果たせず、結局金田・黒川・山本の3人が参加しました。宇山地区住民は全員(約170名)加盟の自治組織「四季の里」を結成し、会場係や売店などの役割を分担し、今は地区を出ている宇山の出身者や近傍の住民を暖かく迎え、あたたかも「ホームカミング・デー」のようでした。

取れたて「野菜」の直売は午前中に売り切れ、「芋掘り」に「焼き芋」は行列ができ、宇山名物の「そば」「松茸飯」「ぜんざい」なども大健闘でした。来賓の方々のご挨拶のあと、「カラオケ大会」「竹とんぼ飛ばし大会」「紙飛行機飛ばし大会」「ピンゴ大会」などが行われました。

宇山地区は政府の新農政に対応するため、農業生産法人として再出発してゆかねばなりません。急傾斜の山間に田畑を営々と開墾耕作してきた宇山農業を今後どのように経営して行けばよいか。宇山東営農組合長の高橋正臣さん、自治組織「四季の里宇山」会長の東一孝さん等のリーダーシップのもとに、懸命に頑張っておられます。広大マスターズにも、サポートを期待されています。

5 . 東広島生涯学習フェスティバルに出展しました

< 第 17 回東広島市生涯学習フェスティバルが 11 月 3、4 の両日、東広島市運動公園体育館で開催され、広大マスターズも初参加しました。以下は会場設営とプレゼンテーションを取り仕切った安藤忠雄幹事の報告であります。非常に詳細な報告であり、今後の参考になると思われるので、全文を掲載しました。 >

広島大学マスターズは 11 月 3、4 日の第 17 回東広島市生涯学習フェスティバルに初めて出展し、好評だった。会場は市の運動公園の体育館。マスターズに割り当てられたブースは幅 3.6m、奥行き 2.7m、高さ 2.4m もある。発足後 1 年足らずなので、とりあえず会の組織と活動を紹介することにした。

マット紙に印刷した A ゼロ版のポスター 27 枚を切り張りして、幅 2.6m、高さ 1.5m の巨大ポスターを 3 枚制作した。右側面には、設立総会の写真を中心にマスターズを紹介し、正面には市民講座、学校への出前講座、市のまちづくり出前講座など現在実施中の活動を、そして左側面には地域社会との連携を模索しているマスターズを紹介した。

初日の午前中、知人がブースに立ち寄ってくれたが、多くは目もくれずに前を通り過ぎるばかりである。これでは苦勞した甲斐がない。昼前に自宅に戻りポスターを使ったクイズを考案した。ポスター中央には化石を持って授業している沖村会員の写真がある。その右には宗岡会員の魚の話が載っている。たまたま私はブラジルで買った魚の化石をはさんだ石と小魚の化石を使ったペンダントを持っている。

「この石の中には何が入っていますか？ 正解者 1 名にそれを使ったペンダントをあげます。答のヒントは、ポスターの写真と説明文にあります。」と書いたビラと解答用紙 100 枚を用意して会場に戻った。ブースの机の上に赤い布を敷き、その上に金色の紐で縛った化石を置いた。「クイズをしてみませんか？ 賞品は珍しいペンダントです。」と通りがかりの人に声をかけると子供から高齢者までブースに入ってくれる。若い女性にも気軽に声をかけられる。クイズが始まると 3 時間ほどは呼び込み、クイズの説明、マスターズの紹介と腰をかける間もなかった。

100 名様限定としたクイズは両日とも 3 時間ほど実施し、200 枚用意した解答用紙は時間前に完売となった。おそらく 300 名くらいの人たちがブースに来てくれたことだろう。おまけにクイズの答を探そうとポスターを隅から隅まで良く見てくれる。一石二鳥である。賞品は公開の抽選の結果、高屋町のご婦人が手に入れた。今回のフェスティバル出展はマスターズを地域社会へ紹介する良いきっかけになったし、これを機にマスターズの協力を得たいという人も何人が現れた。これで準備から後片付けまで丸々 4 日間つぶした苦勞も多少報われた気がした。(安藤忠男)

6 . 蔵書整理・有効活用の試みにご協力を！

大学を退職し仕事を離れた後、これまでに収集した貴重な蔵書・文献等も事情によっては家族らの手に余る場合が生じます。これらの貴重な文化遺産はかつての大学濫立期には需要もあり、適正な評価を得ましたが、電子機器の普及や情報入手手段の変化に伴い、場合によっては粗大ゴミや回収用の古紙としてしか扱われかねません。これは誠に惜しむべき事態といえましょう。

広島大学マスターズは西山会員のご提案もあり、以下の試みを行います。 会員の皆様に、有償または無償で割愛できる蔵書をリストアップして、その一覧を提出していただく。 マスターズはそれらを一括して(a)自分の研究上必要とする人々に斡旋する、(b)地域の図書館(室)や学校図書室等への受け入れ斡旋を行う、(c)古書店と交渉し高価な買い取りの実現を図る。 これらの過程で収支(運搬費・整理費・通信費・有償譲渡の場合の売上・その他)が生じそうな場合は、所有者と相談することがある。

これらの活動が有効であれば次年度以降も継続したいと思います。さしあたりリストの第一次締切を平成 20 年 3 月 31 日とします。リストには、1.著者名、2.書名・副書名、3.出版社、4.発行年、5.割愛価格(有償の場合)、を A4 版の用紙に横書きしてください。また、パソコンを使われる方は Excel をご使用ください。提出先は広島大学マスターズ事務局(739-0043 東広島市西条西本町 28-6 サンスクエア東広島 3 F 広島大学サテライトオフィス内)で、メール(masters@hiroshima-u.ac.jp)でも結構です。

7. マスターズ活動記録(10月1日以降)

- 10/3 幹事会(於・コラボスクエア)
10/13 マスターズ懇親会(於・料亭「ふく政」)
10/20 広大マスターズ市民講座第 1 コース(以下 HMCS1と略す)「熟年世代の健康と食べ物」
第 1 回「熟年世代の健康」(講師・角谷会員)
10/24 沖村雄二会員、東志和小学校で出前授業。テーマ「大地を探る」
10/27 同上市民講座第 2 コース(以下 HMCS2と略す)「広島のアユ」
(講師・生物圏科学研究科海野徹也教授)
10/24 マスターズ、東広島市観光協会と同協会が主催する東広島市音楽祭のアートマネジメントについて協議(原田宏司会員、金田代表幹事出席)
マスターズ、ひろしま国際センターおよび JICA から、国際研修事業の現状の説明を受け、マスターズの協力の可能性について協議(金田、安藤、黒川、菅川、山本幹事と中川平介会員出席)
10/28 宇山ふれあいまつりに参加
11/3,4 東広島市生涯学習フェスティバルに出展。
11/10 HMCS1 第 2 回「機能性食品の科学」(講師・太田安英会員)
11/15 JICA と第 2 回協議(金田、安藤、黒川、山本幹事、中川会員)。幹事会(左記 4 幹事、西山啓会員)
11/17 HMCS2 第 2 回「魚と貝の神経」(講師・宗岡洋二郎会員)
11/24 HMCS1 第 3 回「過去の食中毒事件から学ぶこと」(講師・川上英之会員)

投稿募集

本「通信」は、本会の設立趣旨に沿って、当初から会員相互の情報交流の場にしたいと願ってきました。既に第 7 号において、沖村雄二会員の調査報告「ホボロ島が生物浸食作用で消えて行く」を会員の活動報告として掲載いたしました。会員の皆さまの近況、活動状況などをぜひお寄せください。紙面に余裕があるかぎり、掲載して行きたいと考えています。

広大マスターズへのお問合せ等は、下記宛にしてください。

事務局：739-0043 東広島市西条西本町 28-6 サンスクエア東広島 3 F

広島大学サテライトオフィス内

広島大学マスターズ事務局

TEL: 082-493-7965, FAX:082-493-7981

(事務局には担当者不在の場合が多いため、TEL はできる限り避けて、FAX をご利用ください。)

E-Mail: masters@hiroshima-u.ac.jp

URL: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/>